

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

| | | |
|---|--|--|
| (宛 先) 京 都 市 長 | | 平成 27年 7月 31日 |
| 報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 | | 報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長 庄司 哲也 |
| 京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。 | | |
| 環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称 | ISO14001 | |
| 適 用 範 囲 | 購入・契約部門及びお客さま営業コンサル部門 | |
| 導 入 年 月 日 | (購入契約) 1999年10月 (営業コンサル) 2004年3月 | |
| 認 証 番 号 | (購入契約) JSAE 164 (ソリューションサービス) YKA 4002866 | |
| 基 本 方 針 | 環境保全・保護活動のあるべき姿として「長期環境ビジョン」を制定し、「中長期目標」「中長期計画」を2010年度に策定しました。私たちは地球環境と人・生物にやさしい社会を創造するため、通信技術やICT技術を活用し、お客さまやビジネスパートナー、行政、教育機関、NGO、NPOの皆さまと連携し、「低炭素社会の実現」、「循環型社会の推進」、「生物多様性の保全」を実践していきます。 | |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | 2020年度に向けた目標 ■低炭素社会の実現：CO2排出量を31.5万t-CO2（2008年度比15%以上を削減） ■循環型社会の推進：廃棄物最終処分率を2%以下。1人当たりの紙使用枚数を8500枚/年（2008年度比30%以上を削減） ■生物多様性の保全：生物多様性を配慮した事業の推進 | |
| 目標を達成するための取組の内容 | 次の3つの「eco」を推進することで、社会活動をより豊かで効率的なものとし、美しい地球とすべての生物の共存に寄与します。 ①Green of ICT：技術・プロセスのイノベーションによる、増大するICT機器、設備の環境負荷低減 ②Green by ICT：ICTを活用した人・物の移動の効率化、ペーパーレスなど脱物質化による、社会の環境負荷低減 ③Green with Team NTT：NTTグループ社員の家庭や地域環境負荷低減 | |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | ・CO2排出状況については、3.11の震災の影響により節電対策によりオフィスビルでは、昨年度比▲50%の実績があることから、概ね良好と考えられる。 | |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | 年2回開催される社内CSR会議で目標達成状況について評価を実施予定 ※2020年度目標評価は2011年度実績から実施 | |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | ・改正省エネ法への対応によるエネルギー管理マネジメント強化（省エネルギー会議の定期開催） | |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | 現在のところなし | |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。